

## 目次

### タイトル

CIRメッセージ：  
「自己紹介とドイツのお  
小遣い事情」

レポート：2022年  
8月の国際交流活動

ALTメッセージ：「アメリ  
カでアジア系アメリカ人とし  
て育つこと」

### 国際交流イベント

- ・ スケジュール
- ・ 紹介

## Contents

### Exhibition

CIR Message: Self  
Introduction and Pocket  
Money in Germany

Report: International  
Activities (August)

ALT Message: Growing  
Up as an Asian American  
in America

Upcoming Events!  
Please Look on  
Facebook for English  
Information!

延岡市

# 国際交流 Newsletter



## ウクライナ支援物資を輸送

Sending donations to Ukrainian  
refugees in Germany

以前からお知らせしているように、延岡市はドイツのボトロップ市との交流を進めています。ボトロップ市にいるウクライナ避難民の子どもたちのために、皆さんから寄付されたおもちゃは8月16日に延岡からドイツに向けて発送し、26日にドイツに到着し、近日中にボトロップ市に到着予定です。皆さん、ご協力ありがとうございました-進捗がありましたら、引き続きお知らせします。

As you already know, Nobeoka City has recently started an exchange partnership with Bottrop City in Germany. As part of this exchange, Nobeoka City decided to support children from Ukraine currently living in Bottrop City. The donations we have received since June, including toys and outdoor play equipment, were sent to Germany on the 16th and arrived in Germany on the 26th of August. We thank everyone for their kindness and cooperation – we will notify you as soon as the packages reach Bottrop City.

## CIRメッセージ



セガット・ ショエル  
延岡市国際交流員

Joëlle Seggert  
(CIR) Coordinator for  
International Relations

8月から延岡市国際交流員として勤務を始めましたセガット・ ショエルと申します。

ドイツの出身地のラインランド＝ファルツ州は歴史と自然が豊かで、何百年も前に建てられたお城などの遺跡がたくさん残り、モーゼル川に接している市町村はワイン産地としても知られています。田舎育ちの私が自然との親しみを感じ、延岡市や宮崎県でもサーフィンや登山などのアウトドアスポーツを通じて自然を楽しみたいと思います。好奇心旺盛で「何でも知りたい」「やってみたい」という性格ですので、ボランティア、伝統的な技術、アートやダンスにも興味があります。何よりも地元の方々と交流すること、そしてドイツのご紹介ができることをとても楽しみにしています。

Hello everyone, nice to meet you.

My name is Joëlle Seggert and I am the new coordinator for international relations in Nobeoka. In my home state of Rhineland-Palatinate, Germany, we are proud of our beautiful nature and historic sites like castles and other remains that were built hundreds of years ago. Except for delicious food and of course beer, this area is also famous for its wine- especially the towns situated close to the Mosel River. As I grew up in the countryside, I am looking forward to outdoor activities like surfing or hiking, that will let me enjoy Nobeoka's and Miyazaki's rich nature. However, as I am basically interested in anything from music to traditional arts, crafts and dances, I am excited to experience everything Nobeoka has to offer.

In the future I would like to engage in many events to further promote intercultural exchange and share information about Germany with you.



Porta Nigra in Trier  
トリーア市のポルターニグラ



Weinberge an der Mosel  
モーゼル川のウィンヤード

## ドイツのお小遣い事情

お小遣いについて紹介して欲しいという依頼があったので、今日はドイツのお小遣いやバイトの文化についてご紹介したいと思います。

ドイツでのお小遣いは子どもが幼い頃からお金の扱い方を学ぶ方法として考えられています。多くの国と同じように家庭の事情（子どもの人数や親の給料などを含めて）によってお小遣いの管理が異なると思います。ドイツの色々な子育てウェブサイトではドイツの子どもは月当たり何ユーロぐらいお小遣いをもらっているかを調べると10歳の子どもが約20ユーロ、18歳の子どもは約100ユーロをもらっていることが分かります。そして、イースターやクリスマスのような家族や親戚が集まる祝日や誕生日にもお祝い金をもらうのは一般的です。もらったお金は多ければ貯金して、大人になってから運転免許証や車に使う人が多いと思います。ただし、子どもだとお菓子やおもちゃなどを買ったり、10代の子どもだとスマホ、パソコン、ゲーム機や本、服、化粧品などを買ったりします。

私は小学生の時、ポケモンカードがはやっていて、それにたくさんのお金を使った友達が多かったです。私も買いたかったのですが、お母さんに「その厚紙を買うのはお金の無駄遣いだから、絶対買わない!」と言われた記憶があります(笑)。皆さんもそういう経験がありますか？

### Taschengeld in Deutschland

Nach einem Leserwunsch möchte ich heute näher auf das Thema „Taschengeld in Deutschland“ sowie Nebenjobs eingehen.

In Deutschland wird Taschengeld als Möglichkeit gesehen, von klein auf den Umgang mit Geld zu lernen. Wie in vielen anderen Ländern auch, unterscheidet sich die Ausgabe des Taschengelds je nach Familiensituation und wird von Faktoren wie der Anzahl der Kinder oder der finanziellen Situation der Eltern beeinflusst. Mehreren Erziehungsratgebern im Internet zu Folge, erhalten Kinder in Deutschland mit 10 Jahren durchschnittlich 20 Euro und junge Erwachsene mit 18 Jahren ca. 100 Euro Taschengeld im Monat. Zudem ist es üblich, an Feiertagen wie Ostern oder Weihnachten sowie am Geburtstag, Geldgeschenke von Familie und Verwandtschaft zu bekommen. Fällt das Geldgeschenk groß aus, wird es in vielen Fällen gespart und für große Anschaffungen oder auch für die Finanzierung des Führerscheins sowie des ersten eigenen Autos genutzt. Besonders jüngere Kinder geben ihr Geld jedoch häufig für Spielzeug oder Süßigkeiten, Teenager für Elektrogeräte wie Smartphones, PC, Spielekonsolen oder auch Bücher, Kleidung und Kosmetikartikel aus.

In meiner Grundschulzeit haben viele meiner Freunde ihr Taschengeld für Pokémon Karten ausgegeben, die damals total im Trend waren. Ich erinnere mich noch daran, dass ich mir auch immer Karten gewünscht habe, aber meine Mutter immer mit „Für das bisschen Pappe mit Bildchen drauf, geben wir kein Geld aus!“ abwinkte. Haha. Habt ihr auch ähnliche Erfahrungen gemacht?

Keywords  
キーワード  
(日本語・ドイツ語)

おこづかい  
お小遣い  
Taschengeld

アルバイト  
Nebenjob

ちよきんする  
貯金する  
(Geld) sparen

おかねをつかう  
お金を使う  
(Geld) ausgeben

りんじしゅうにゆうをえる  
臨時収入  
を得る  
sich etwas dazu verdienen

くさり

## 草刈り

das Rasenmähen

しんぶんをくばる

## 新聞を配ること

das Zeitung austragen

## ウェイターをすること

das Kellnern

法的に15歳からバイトができますが、お隣さんの草刈りをしたり、新聞を配ったり、カフェでウェイターしたりするような仕事に限られています。ドイツでは18歳になると成人するので、自立する人もいますが、 Ausbildung（※職人トレーニング）や大学が終わるまでは親から少しだけサポートをもらい続けるのも珍しくありません。皆さんの国はどうですか？

Mit 15 Jahren kann man sich dann durch Nebenjobs etwas dazu verdienen. Allerdings beschränken sich diese oft auf Tätigkeiten wie Rasenmähen beim Nachbarn, Zeitung austragen oder Kellnern im Cafe. Mit 18 Jahren wird man in Deutschland volljährig, daher gibt es viele Leute, die in diesem Alter schon finanziell unabhängig sind. Allerdings gibt es auch diejenigen, die bis zum Ende ihrer Ausbildung oder des Studiums noch Unterstützung von den Eltern oder der Verwandtschaft erhalten.

Lasst uns gerne wissen wie es in eurem Land aussieht!

## レポート:2022年8月の国際交流活動

Report: International Activities  
(August)



8月29日は宮崎大学の学生と延岡市国際交流員が三川内中学校の学生との交流を目的とし北浦町を訪問しました。生徒二人がツアーガイドになり、自然豊かなふるさとの観光スポットを巡りながら、観音滝や学校、周辺の神社を案内してくれました。午後からは小川での川遊びやカヌー体験をし、夜には色々な世代の地元の人達や先生、宮崎大学の学生と国際交流員が集まりました。三川内の名物・しし鍋とぶどうなどを堪能しながら、焚火のそばで色々な話をし、とても楽しい一日を過ごしました。



On the 29th of September students from Miyazaki University visited Kitaura-cho together with the Nobeoka City CIR to engage in summer exchange activities with the students of Mikawauchi Middle School. Two of the students prepared a little tour for the visitors, including their school, various shrines and Kanon Falls to let them enjoy the rich nature of their hometown. After riding canoes in the afternoon and playing in the clear streams of the O River, everybody got to enjoy local boar meat stew and freshly picked grapes while chatting by the campfire. What a fun day!

### 出前講座のご案内

国際交流員が皆さんのところへ出向いて講座を開く「出前講座」を行います。学校、職場やグループで是非ご利用ください。

- 講座内容： ドイツの紹介（文化・日常生活・ドイツ語等）、料理教室、その他国際交流に関すること  
対象者： おおむね10人以上の市民のグループや団体 ※営利目的と思われるものは対象外です。  
費用： 会場使用料や材料費は依頼者負担となります。  
開催場所： 延岡市内に限ります。会場の手配や準備をお願いします。

詳しくは、国際交流推進室までお問合せください。

延岡の皆さん、こんにちは！ニュースレターを書いてからしばらく経ってしまいました。皆さんは夏休みをどう過ごしていますか？9月が始まると学校や仕事に戻るようになります。9月は僕にとって特別で、なんと誕生月なのです！そこで、今回は自分のことについて少し話してみるのはいかがでしょうか？特に、アジア系アメリカ人一世としてアメリカに生まれ育った私の人生についてお話ししたいと思います。

Hello friends in Nobeoka! It's been a while since I've written in this newsletter. How has your summer been? With September arriving it's back to school and work. September for me is a special month since, surprise, it's my birthday month! So how about today I talk a little bit about myself? Specifically, I'd like to talk about my life as an Asian-American growing up as the first generation to be born in America in my family.

## ALTメッセージ



チャック・シオン

延岡市ALT

Chuck Xiong  
Nobeoka City ALT

## アメリカでアジア系アメリカ人として育つこと

Growing Up as an Asian American in America

改めまして、私はチャック・シオンです。延岡でALTを・・・もう3年しています！アメリカのカリフォルニアで生まれ、延岡に引っ越して来るまで住んでいました。しかし、私の両親はアメリカに来る前にラオスで生まれました。両親（私自身も）はモン族です。モン族とは元来中国の少数民族の出身で、現在はラオス、タイやベトナムなど東南アジアに広く定住しています。モン族はベトナム戦争でアメリカ軍を援助した結果、ラオス政府から迫害を受けることになりました。祖国で安全に生活することができなくなったため、多くの人々はラオスから近隣の国に、一部の人々はアメリカへと逃げなくてははいけません。私の両親がアメリカに来た頃、両親はまだ子どもでしたが、新しい生活様式、言語や文化を学ばなければいけませんでした。

Just to refresh your memory, my name is Chuck Xiong. I'm an ALT in Nobeoka of... wow 3 years now! I was born in California, USA, where I lived my whole life before moving to Nobeoka. However my parents were born in Laos before coming to the US. My parents (and I myself) are of the Hmong people, an ethnic minority group originally from China but who have now greatly settled in southeastern Asian countries like Laos, Thailand, and Vietnam. The Hmong people had assisted Americans in the Vietnam War which led to their persecution by the Lao government after the end of the war. With their home country no longer safe, many had to flee Laos into neighboring countries, and some to the US. My parents were only children when they went to America where they had to learn a completely new way of life, language, and culture.

## Keywords

キーワード  
(日本語・英語)

もんぞく

モン族  
Hmong

ていじゅうする

定住する  
settled

にげる

避げる  
to flee

## Keywords キーワード (日本語・英語)

めぐまれる

恵まれる  
blessed

つよくい

強く言う  
insistent

ぎしき

儀式  
ritual

おもに

主に  
predominantly

とけこむ

溶け込む  
to blend into

きはん

規範  
norm

てつがく

哲学  
philosophy

せいねん

青年  
youth

しかし私はアメリカに生まれ、より良い生活を送る機会に恵まれました。普通のアメリカの子どもたちと同じように学校に通うことができました。幼い頃に英語を学び、たくさんのアメリカの漫画を見て、アメリカの食べ物（たくさんのハンバーガーやレンジで温めるブリトー（\*メキシカン料理）、チキンナゲットなど）を食べました。しかし私の両親はいつも私がモン族だということを忘れないように強く言って聞かせました。両親は母国の伝統や儀式を私に受け継ぐために最善を尽くしてきました。両親は私に料理、伝統、儀式を教えました。私の友達が昼食にサンドイッチや冷たいピザを食べる時に、私はチキンと米を食べました。アメリカ人にとって、そして、時には私にとって、伝統は不思議なものや不便に見えることもあります。でも、私の両親の世代にとって、部族の伝統を継承していくことは極めて重要なことなのです。

主に白人とラテン人が住む南カリフォルニアの地域で、アジア人として育った私は、両親から人に溶け込み、目立たないようにと教わりました。これは日本の社会規範に似ていると思いますし、多くのアジア文化がこの哲学に則っていると思います。学校で一生懸命勉強をし、文化の違う人達と付き合わないようすれば、いつか成功して自分の社会に恩返しができること教えられてきました。そのため、小さな頃は友達を作るのが難しく、また高校の友達の大半は他のアジア系アメリカ人でした。どの出身国でも、ほとんどのアジア系アメリカ人青年は似たような背景をもち、家族、教育や勤勉な価値観を重視する両親をもっていました。

アジア系アメリカ人として、アメリカでは様々な文化の良い部分を経験できます。学校では、他の子どもたちと同じようにアメリカ人とし

For me however, I was blessed with much better living opportunities having been born in America. I was able to enter school as any normal American kid could. I learned English at an early age, I watched a lot of American cartoons, and I ate American food (a lot of hamburgers, microwavable burritos, and chicken nuggets). My parents however have always been insistent that I never forget that I am at heart, a Hmong person. They do their best to pass on the traditions of their home country onto me. They teach me their cooking, their traditions, and their rituals. While my friends ate sandwiches and cold pizza for lunch, I ate chicken with rice. For Americans, and sometimes for me, some of our traditions may seem strange or an inconvenience. But for my parents' generation, it's extremely important to continue practicing the traditions of their people.

Growing up Asian in the predominantly white and Latino neighborhoods of southern California, my parents taught me to blend into the crowd and to not stand out. This is pretty similar to Japanese societal norms I think, and most Asian cultures follow this philosophy. I was taught to work hard in school and to not socialize with people outside of my culture so that one day I could become successful and give back to my community. As such it was hard for me to make friends when I was young, and in high school the majority of my friends were also other Asian Americans. No matter the origin of the country, most Asian American youths share similar backgrounds, having parents who emphasize family, education and hardworking values. As an Asian American, you get to experience a lot of the best parts of multiple cultures in America. At school you enjoy life as an American like any



て学校生活を楽しみ、家ではアジア人の息子として生活します。“普通の”アメリカ人になりたいと思いつつながら、二つの異なる文化に対応するのは、時には難しいかもしれませんが。しかし、私は両親が伝統を伝えてくれることに感謝し、様々な文化を経験することができて幸運だと信じています。もちろん今は、日本の文化や生活を経験しているところです。私たちは皆、異なった背景をもっているのですから、時には他の人の立場に立ってみるのはどうでしょう？そうすれば人々はもっと広い心をもてるのだらうと思います。時々、昼食にサンドイッチを食べ、別の時にはチキンとご飯を、そして時には味噌汁とお弁当を食べてみましょう。

other kid, but at home you are an Asian son. It can be challenging at times, grappling with two different cultures while wanting to be a “normal” American person. But I’ve learned to appreciate my parents passing on their traditions to me, and I believe I’m lucky to have been able to experience a variety of different cultures. I’ve now of course also gotten to experience Japanese culture and daily life. We all have different backgrounds, so why not step into someone else’s shoes every now and then? I think people would be a lot more open minded if they gave it a chance. Sometimes you should have sandwiches for lunch, other times chicken and rice, and sometimes a bento with miso soup.

## Keywords

キーワード  
(日本語・英語)

さまざまな

様々な  
multiple

だれかのたちばにたつ

誰かの立場に立つ  
to step into  
someone's shoes

ひろいこころをもつ

広い心をもつ  
to be open  
minded

これからの

## 国際交流イベント Upcoming

要申込

9月

September

- 14日（水） ドイツ語で話してみよう！ ～ドイツ語フリートーク German Free Talk**  
ドイツ人の国際交流員とドイツ語で様々なテーマについて話してみよう。ドイツ語を楽しみながら、レベルアップできます！  
時間：18時30分～19時30分 場所：社会教育センター 3F 研修室6
- 27日（火） ドイツ語講座 初級（夜） German for Beginners（9月27日～11月29日）**  
ドイツ語が初めての方におすすめ！この講座ではドイツ出身国際交流員と一緒に楽しくドイツ語の基本やドイツの文化について学びます。  
時間：毎週火曜日 全10回18時30分～20時00分  
場所：社会教育センター 3F 研修室6
- 28日（水） ドイツ語講座 中級と国際交流フリートーク Intermediate German**  
ドイツ語で簡単な会話ができる方にお勧め。前半は今まで学んだことを復習したり、参加者のレベルや希望に合わせてドイツを学んだりします。後半はドイツ語や日本語でも楽しく会話する予定です。  
※ コロナ拡大防止のためフリートークの時間は以前のように一緒にランチを食べられません。ランチは、状況が落ち着き、参加者の希望があれば再開する予定です。追ってご案内いたします。  
時間：11時～13時 場所：社会教育センター 3F 研修室4
- 30日（金） おしゃべりサロン International Chat Night**  
毎回新しい国を紹介した後、簡単な日本語と外国語で会話をしながら楽しい夜を過ごしましょう！  
時間：18時30分～20時30分 場所：延岡市役所 講堂（2階）

※申し込みは電話またはメールでお願いします



## 10月からの新しいニュースレター

皆さんの海外での体験や記事を読んで面白かったこと、驚いたことについて教えてください。送って頂いた記事は、ニュースレターやSNSで共有する予定です。国際交流室からの発信だけでなく、皆さんからのメッセージと共に相互的なニュースレターを一緒に作っていかれたらと思います。私たちも皆さんの体験やご意見を楽しみにお待ちしております。

## 発行 Published by

延岡市役所総務部国際交流推進室（総務課内）  
Nobeoka City, International Exchange Promotion Office  
担当:セガット・ショエル（国際交流員）

## 連絡先 Contact

T e l . (0982) 22-7006  
M a i l : kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp



Nobeoka International -  
延岡市国際交流推進室



nobeoka\_international